

正しく動き、美しくつながり、強く創り出す「未来を生き抜く力」を育成する学校



# 「たい」のあられる時津小



↑こちらからも↑

令和6年12月16日（月） 発行人：校長 森内 秀学

## 創造力×楽しむ力⇒ごみのない学校へ



「時津小版五つのしおり」の四つ目は、「ごみのない教室」。そこから発展し、生活委員会が、「ごみのない学校大作戦」という取組を始めました。

これは、事前に配られた黄色い袋にごみを拾って入れたら、中身を捨てたあと左の掲示板に貼り、ツリーを完成させていくという取組です（左）。黄色い袋は、折り紙を使った生活委員会の手作り。ゴミが拾われれば拾われるほど、学校もツリーもきれいになっていくなんて、素敵な取組だと思いませんか？

未来を生き抜くためには、過去に甘んじることなく、新しい発想で「強く創り出す」気持ちが大切です。しかも「楽しく」取り組めれば、もう言うことありません。

ごみのない学校はもう間近。いい年越しができそうです。

## スピーチコンテストに向けて

「大勢の人の前で、英語でスピーチをする」という経験をしたことのある大人が、どれほどいるでしょうか。少なくとも、私にはありません。そんな大舞台上に挑むのが、本校6年生の北野蒼馬さん、浜田恵名さん、北野颯人さんの3人です。本番は12月19日（木）の時津公民館。



上の写真は、全校児童を前にしたリハーサル風景です。身振り手振りを使いながら、流暢な発音でゆっくり語り掛ける話しぶりは、英語そのものや難しい単語がよく分からない子どもたちでさえも、一生懸命意味を読みとろうと引っ張り込まれる魅力がありました。

当日は、15時から。ご都合が付く方は、ぜひ、時津公民館に足をお運びください。



## ジャンピングボードで二重跳びに挑戦！

縄跳びに夢中になっている子どもたちにとって、憧れの技は二重跳び。でも、高い壁です。

そこで、事務の高橋さんをお願いし、ベニヤと角材を組み合わせたジャンピングボードを作ってもらいました（左）。ベニヤのしなりのおかげで高く跳べるので、二重跳びができやすくなります。この日も二人成功！用具の工夫で、運動能力もやる気も向上しています！